

# 平成28年度事業報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

## 【企画運営活動】

### 1. 第33回社員総会

平成28年5月27日、大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1丁目8番4号)において開催した。代議員総数150名のうち、121名(内21名出席、委任状100名)が出席し、代議員の過半数である定足数を満した。第33回社員総会は成立したことを確認した後、次の議案を審議し、満場一致で承認決議を行った。

- (1)平成27年度事業報告承認の件
- (2)平成27年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件
- (3)役員選任の件
- (4)名誉会員推挙推戴の件
- (5)その他

報告事項1.平成28年度事業計画書報告の件、報告事項2.平成28年度収支予算報告の件、報告事項3.新終身会員報告の件

### 2. 理事会 (4月27日、8月29日、12月12日、3月30日)

本会の意思決定機関として、本会の事業活動を担っている事業企画委員会、会誌編集委員会、各種委員会、特別委員会等の活動状況の報告をうけ、定款によって定められた審議事項並びに会全体の運営に係わる事項及び公益支出計画実施報告書について審議・決定した。

### 3. 委員会

会長の諮問に答え、また委員会規定に基づき各種の業務執行にあたる。平成28年度は下記15の委員会を開催した。

#### (1) 会員増強委員会 (1回) (6/7)

委員会では化学、化学工業関連分野はもとより会に有用な会員獲得のための勧誘活動方法等を審議して理事会に提案した。

#### (2) 財務委員会 (2回) (12/7、3/29)

本会の予算案の編成並びに経理と財務を掌理し、長期的財政の安定を図るために委員会を1回開催し、本年度の予算の執行、次年度の予算について審議した。

#### (3) 事業企画委員会 (6回) (4/13、6/15、8/26、10/12、12/14、2/13)

本会の目的達成に必要な事業の企画・実施するために委員会を6回開催した。

#### (4) 会誌委員会 (12回)

(4/18、5/6、6/13、7/4、8/1、9/2、10/3、11/7、12/9、1/6、2/3、3/13)

会誌の編集、刊行を掌理するために編集委員会を12回開催した。

#### (5) 技術賞委員会

化学技術賞審査委員会 (1回) (3/22)、技術賞委員会 (1回) (12/6)

表彰規定に基づき化学技術賞授賞者及び環境技術賞授賞者の選考を行う為に技術賞委員会1回と審査委員会を1回開催し、平成28年度の授賞者を選定した。

#### (6) 人事委員会 (2回) (7/26、10/19)

平成28年度は事務局職員人事・給与及び契約職員の時給等について審議し、理事会へ提案した。

#### (7) 合同事務局運営委員会 (1回) (6/9)

一般財団法人大阪科学技術センタービル608号室に同居する化学系の学術5法人の運営に関する事項について1回の委員会を開催し、部屋代・人件費・社会保険料・事務局運営経費等の分担経費を決定した。

#### (8) 研究部門委員会 (1回) (7/19)

専門部会の運営、改廃を掌理し、また本会の目的のための必要な部会・研究会の設置について

審議するため委員会を1回行った。

(9)国際交流委員会（1回）（6/18）

交流協定書を締結している韓国工業化学会の行事内容及び上海化学産官学交流会・上海サロンの内容などを本会機関誌および連絡拠点を通じて大学、企業に周知して参加を促した。また、より広い地域との交流事業企画について審議し理事会へ提案した。

(10)女性委員会（1回）（5/27）

本会が広く女性化学者の集う場となるべく、具体的な事業の企画立案を行った。

(11)情報化委員会（2回）（7/25、8/26）

本会の効率的・効果的運営に必要な情報化社会システムの活用について企画、推進した。

(12)将来構想WG（1回）（6/24）

3年後に迫った本会創立100周年記念事業や本会の将来問題の検討を行うためにWG会議を1回行った。

(13)100周年記念事業実行委員会（2回）（8/4、2/10）

本会創立100周年記念事業の検討を行うために実行委員会及び小委員会をメールにて審議した。

(14)役員候補者選考委員会（1回）（8/17）

平成29年～30年度理事・監事候補者選考の為、会長に指名された委員にて選考委員会を1回開催した。

(15)監査会（1回）（4/22）

定款第25条に掲げる監事の業務を執行する為に①理事会に出席、②監査会を1回開催した。

**【国際研究集会・国際交流事業】（公益目的事業1）**

多くの日本の研究者及び化学系企業が進出している海外の下記拠点において大学・研究機関・企業の技術者を対象とした技術交流会（学術講演会・見学会）を開催し、学術研究や異種産業技術間の連携・交流の場を提供する。会員・非会員に関係なく広範に参加を募り、我が国科学技術の振興と社会経済に貢献することを目的とする。

1. 韓国工業化学会との交流

平成28年度は情報交換および化学啓発行事である韓国化学工業会の年次大会の内容などを本会の会誌および韓国の連絡拠点を通じて大学及び企業に周知して参加を促した。

2. 韓国蔚山工業誘致協会(精密化学品工業センター)との交流

上記同様年次大会の内容などを本会の会誌および韓国蔚山工業誘致協会の連絡拠点を通じて大学及び企業に周知して参加を促した。

3. 日中化学産官学交流

第10回上海化学産官学交流会（10月28日・上海交通大学・参加者80名）及び上海サロン（10月28日・上海市の紋兵衛・参加者24名）の内容などを本会の会誌および中国の連絡拠点を通じて大学及び企業に周知して参加を促した。

4. ASEAN R&D視察団2016

平成28年7月17日(日)～23日(土)の7日間 シンガポール、タイ・バンコクのR&D施設を訪問した。（団員17名）

**【優れた研究業績の顕彰事業】（公益目的事業2）**

化学工業振興の見地より若い研究者および技術者の優れた業績を発掘するとともに、化学技術の発展に向けての更なる貢献を期待し、その業績をたたえ激励することを目的として、化学技術賞・環境技術賞

を設けて顕彰を行う。

1. 平成27年度第68回化学技術賞授賞者3件・11名並びに第16回環境技術賞授賞者3件・9名を第33回社員総会の席上にて表彰した。

定款及び表彰規定に基づき、化学技術賞等選考委員会にて選定された技術者の表彰を行った。

2. 平成28年度第69回化学技術賞並びに第17回環境技術賞の審査、選定を行った。(3月22日)  
第69回「化学技術賞」

平成28年度内における化学に関連する研究・技術で、工業化したもの、工業化しうるもの、工業化への寄与が著しいもので、特に顕著な業績のあった者を、本会の定款及び表彰規定に基づき、第69回「化学技術賞」授賞者として、6件・21名を選定した。

第17回「環境技術賞」

平成28年度内における化学に関連する研究・技術で、地球環境との共存並びにその維持・改善を積極的に意識し、方向付けがなされた新技術・改良技術で、特に顕著な業績のあった者を、本会の定款及び表彰規定に基づき、第17回「環境技術賞」授賞者として、1件・5名を選定した。

### 【人材育成のための研修事業及び能力開発事業】 (公益目的事業3)

#### 1. 研修塾

第38期(塾生25名)

会員企業より選ばれた30歳代の技術者、研究者を対象に1年を通じて人格並びに人脈形成を図った。明日の産業界を担う次代の人材育成を主旨に、自らに討議主題を課すと共に自らの頭で考える力を涵養し、また、第一線でご活躍の講師を招いて、その人間性や思想に触れる中でお互いに研鑽し、資質を磨き、人脈並びに人格形成を図るために本講座6回、自主講座6回を開催した。

(本講座)

第1回・4月9日・大阪科学技術センター

①塾頭、副塾頭挨拶

②自己紹介

③塾頭講話「キンカ玉条」

大阪工業大学教務部長/工学部応用化学科教授・常翔歴史館館長 益山 新樹氏

④副塾頭講話「脳の働きと学習」

京都大学名誉教授 梶 慶輔氏

⑤副塾頭講話「研究の色とかたち」

大阪府立大学大学院工学研究科 教授 松本 章一氏

第2回・6月4日・大阪科学技術センター

①「技術者倫理を考える」

中村 収三氏

②事例研究とグループディスカッション

第3回・8月6日・大阪科学技術センター

①「話のタネになる中華文明小史」

元武田薬品工業(株) 角 興三氏

②「大阪画壇をどう考えるか? -ミュージアム企画の可能性-」

大阪商業大学総合経営学部 准教授・商業史博物館 主席学芸員 明尾 圭造氏

第4回・10月1日・大阪科学技術センター

①「超電導材料とその応用」

公益財団法人応用科学研究所 特別研究員・京都大学名誉教授 長村 光造氏

②「自律的キャリア形成と自己啓発 -長い視点からのキャリアビジョンをもつために-」

法政大学キャリアデザイン学部 教授・臨床心理士 宮城まり子氏

第5回・12月3日・大阪科学技術センター

①「まちのデザインを考える ~地域イメージの活かし方~」

京都市立芸術大学美術学部環境デザイン研究室 教授 藤本 英子氏

②「サステイニング・ライフ:生物多様性と博物館」

第6回・2月4日・大阪科学技術センター

①「『プラス思考』と『ラフター・ヨガ』」

日本繊維機械学会フェロー 福岡登久治氏

②「企業における研究開発方法例」

元三洋化成工業(株) 増田 房義氏

(自主講座)

第1回・5月13日～14日・ホテルラフォーレ琵琶湖

①自己・自社PR

②合宿：ホテルラフォーレ琵琶湖

第2回・7月22日・雪印メグミルク(株)京都工場 池上製造所

①見学：雪印メグミルク(株)京都工場 池上製造所

第3回・9月9日～10日・国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 高速増殖炉「もんじゅ」

①見学：高速増殖炉「もんじゅ」

②合宿：サンホテルやまね

第4回・11月25日～26日・宇宙航空研究開発機構[JAXA]筑波宇宙センター・

CYBERDYNE(株)CYBERDYNE STUDIO

①見学：宇宙航空研究開発機構[JAXA]筑波宇宙センター

②見学：CYBERDYNE STUDIO

③合宿：つくばスカイホテル

第5回・1月27日～28日・新日鐵住金(株)八幡製鉄所・(株)安川電機 ロボット村

①見学：新日鐵住金(株)八幡製鉄所

②見学：(株)安川電機 ロボット村

③合宿：西鉄イン小倉

第6回・3月3日～4日・中央防波堤外側埋立処分場・(株)北嶋絞製作所

①見学：中央防波堤外側埋立処分場

②見学：(株)北嶋絞製作所

③合宿：ホテルサンルート川崎

## 2. 学術セミナー・講習会

本会の目的達成をするために事業企画委員会で化学に関する専門的な学術セミナー・学術講習会・学術講演会・見学会等の開催により、科学技術の普及・振興を図る。

### 第21講「研究開発リーダー実務講座2016」

—企業の未来を担う理想の研究開発リーダー像とは?—

(6月1日～11月2日・大阪科学技術センター/毎月1回開講・全6回)

第1回(6月1日)：「研究開発リーダーのあり方」(59名)

①趣旨説明

②話題提供「「弱者の時代」の歩き方：リーダーは「俯瞰力」を磨け！」

ケルセジェン・ファーマ ファウンダー兼開発担当社長 小野 光則氏

③グループディスカッション・交流会

第2回(7月6日)：「ものづくりと技術者倫理」(56名)

①話題提供「逆転の発想から生まれた、2型糖尿病治療薬カナグリフロジン～尿糖排泄を促すSGLT2阻害薬～」

田辺三菱製薬(株)創薬本部創薬Cユニット 野村 純宏氏

②話題提供「「工学倫理」は企業を益する」 元花王(株)/元北海道大学教授 辻井 薫氏

③グループディスカッション・交流会

第3回(8月3日)：「人材の育成」(57名)

①話題提供「研究開発における女性活躍について」

住友化学(株) 人事部 ダイバーシティ推進リーダー 中山由美子氏  
②話題提供「企業価値創出のための研究開発における人材育成」

元(株)ダイセル/YTテクノフロンティア 代表 渡加 裕三氏

③グループディスカッション・交流会

第4回(9月7日):「知財の活用と事業戦略」(60名)

①話題提供「日本のとるべき知財戦略」 山本特許法律事務所 弁理士 山本 秀策氏

②話題提供「CD-Rの事業化とライセンス戦略」

元太陽誘電(株)/元名古屋工業大学産学官連携センター 教授 浜田恵美子氏

③グループディスカッション・交流会

第5回(10月5日):「イノベーションと変革」(54名)

①話題提供「オープンイノベーションによる画期的新薬創生を目指して」

塩野義製薬(株) シニアフェロー/大阪大学基礎工学研究科 特任教授 坂田 恒昭氏

②話題提供「富士フィルムの挑戦-第二の創業と化粧品事業の立ち上げ」

富士フィルム(株) R&D統括本部先端コア技術研究所 副所長 中村 善貞氏

③グループディスカッション・交流会

第6回(11月2日):「R&Dのマネジメント」(51名)

①話題提供「将来の多軸創出のために」

日東電工(株) 専務執行役員 C I O 経営インフラ統括部門長 I T統括部長 表 利彦氏

②グループディスカッション・交流会

近化電池セミナー「電気自動車用および定置用電源の現状と将来展望」

11月17日・大阪科学技術センター(51名)

①「NEDOにおける次世代蓄電技術開発について」

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

スマートコミュニティ部 統括研究員/蓄電技術開発室長 細井 敬氏

②「大容量レドックスフロー電池の開発状況と材料技術」

京都大学大学院工学研究科 特定教授(住友電気工業(株)より出向) 稲澤 信二氏

③「亜鉛-空気二次電池の現状と展望」 京都大学産官学連携本部 特定助教 中田 明良氏

④「電気自動車用全固体リチウムイオン二次電池の研究開発」

トヨタ自動車(株) 電池材料技術・研究部 電池研究室 主幹 中西 真二氏

⑤「革新電池の現状と展望-水系電池から高エネルギー密度二次電池まで-」

京都大学地球環境学堂 教授 安部 武志氏

⑥「リチウムイオン電池の最新技術・ビジネス トピックス」(株)八山 代表取締役 馬場 良貴氏

新春セミナー2017・1月20日・ヒルトン大阪(90名)

「日本の化学産業-現状と将来展望-」 (株)日本触媒 相談役 近藤 忠夫氏

近化高機能材料セミナー「絶対に負けない日本のナノコロイド・機能性微粒子技術 ~合成・構造制御・応用~」・2月7日・大阪科学技術センター(46名)

①「機能性高分子微粒子の合成 ~異形・異相構造の制御~」

南京工業大学先進材料研究院 教授/神戸大学名誉教授 大久保政芳氏

②「メタクリル酸メチル製造用金-酸化ニッケルコアシェル型ナノ粒子触媒の開発」

旭化成(株)研究・開発本部化学・プロセス研究所無機材料研究室 室長 鈴木 賢氏

③「マイクロリアクタを用いた機能性微粒子製造と移流自己組織化による構造形成」

京都大学大学院工学研究科 講師 渡邊 哲氏

④「サイズと形で特徴化された新素材・単結晶ナノキューブの可能性」

産業技術総合研究所 評価部 部長 加藤 一実氏

⑤ 「量子ドット・ロッドの概要とその応用方法」

メルク(株)PM先端技術事業本部量子材料応用開発グループ

応用開発ラボ マネージャー 長谷川雅樹氏

⑥ 「ナノ粒子分散による有機無機ハイブリッド材料の創出」

京都工芸繊維大学分子化学系 研究員 松川 公洋氏

第14回キンカ高分子化学研修コース・3月8日・大阪科学技術センター（40名）

① 「高分子の概論と合成～基礎と最先端合成技術」

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 教授 中 建介氏

② 「高分子の重合プロセス～乳化重合などの微粒子分散ラジカル重合反応の基礎」

福井大学学術研究院工学系部門 准教授 鈴木 清氏

③ 「高分子の製造技術～重合反応装置における攪拌と混合」

住友重機械プロセス機器(株)技術部 グループリーダー 竹中 克英氏

④ 「高分子材料の成形加工品の評価～ユーザーから見れば」

大阪ガス(株)技術戦略部 オープンイノベーション室長 樋口 裕思氏

⑤ 「高分子の開発事例～筋の通った研究開発を進めるために」

神戸大学大学院工学研究科 特命教授/元(株)日本触媒 喜多 裕一氏

3. 学術講演会

本会社員総会終了後の特別講演会として5月27日・大阪科学技術センターで開催した。

特別講演会・5月27日・大阪科学技術センター（106名）

「我が国のエネルギーの課題と展望」

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 理事・研究所長 山地 憲治氏

4. 見学会（科学技術週間協賛行事）

科学技術の普及啓発活動の一環として、科学技術に関し、ひろく一般国民の関心と理解を深め、もって我が国の科学技術の振興を図ることを目的に下記見学会を実施した。

科学技術週間協賛行事「ANA機体整備工場の見学会」・4月20日・MRO Japan(株)  
(39名)

①プレゼンテーション「飛行機・整備について」

②見学会：ANA機体整備工場

【化学に関する知識普及及び情報の提供事業】（公益目的事業4）

会誌「近畿化学工業界」を月刊誌として、化学工業に関する広巾な知識の普及と情報の提供を行うこと及び情報の交換の場とすることを目的として発行する。記事内容は共通する事項を網羅して、専門以外の幅広い化学分野の最先端の動きを掲載することにより、化学技術の普及と振興を図る。

1. 会誌「近畿化学工業界」（月刊）第68巻第4号～第12号(通巻756号～通巻764号)、第69巻第1号～第3号(通巻765号～通巻767号)

【技術交流事業】（共益事業1）

特定分野に限らない学術講演会・サロン・見学会・交流会の開催により、科学技術の普及、振興を図る。

1. キンカ東京サロン

東京在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学（科学）に関する学術講演と討論を行い会員交流・技術情報の交換を図った。

第127回・4月21日・住友化学参宮寮（15名）

「論理的な分子設計への挑戦」

- コニカミノルタ(株)開発統括本部 要素技術開発センター長 北 弘志氏  
 第128回・6月17～18日・和光純薬工業(株)湯河原研修センター(20名)  
 「話題提供①」 元京都大学教授 竹内 賢一氏  
 「話題提供②」 元昭和産業(株)中央研究所 所長 町田 芳章氏  
 「Magical Power of d-Block Transition Metals - Past, Present, and Future.」  
 パデュー大学特別教授 2010年ノーベル化学賞受賞 根岸 英一氏  
 第129回・9月15日・住友化学参宮寮(17名)  
 「スペシャルティケミカの現状、課題、将来」  
 IHSグローバル(株)IHSケミカル部門 上席アナリスト 井野口義夫氏  
 第130回・11月17日・住友化学参宮寮(17名)  
 「酒とアンチエイジングの化学」 昭和大学薬学部 前客員教授 佐藤 和恵氏  
 第131回・2月16日・住友化学参宮寮(17名)  
 「シクロデキストリンの化学ー環境浄化から抗がん剤の研究開発までー」  
 ナノデックス(株) 代表取締役 服部憲治郎氏

## 2. キンカ京都化学者クラブ

京都在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学(科学)に関する学術講演と討論を行い  
 会員交流・技術情報の交換を図った。

毎月第1土曜日を原則として京都大学楽友会館にて開催

第310回・4月2日・京都大学楽友会館(19名)

「私と京都化学者クラブとのかかわりー日本分析化学会学会功労賞受賞に寄せてー」

京都電子工業(株)テクニカルエキスパート 石原 進介氏

第311回・5月7日・京都大学楽友会館(12名)

「高精度同位体分析に基づく元素の原子量決定の最近の動向」

関西学院大学理工学部環境・応用化学科 教授 谷水 雅治氏

第312回・6月4日・京都大学楽友会館(12名)

「無機元素の化学的性質を利用した医薬品ー制がん活性をもつ新しい白金錯体を巡ってー」

大阪薬科大学名誉教授 千熊 正彦氏

第313回・7月9日・京都大学楽友会館(11名)

「数理と人工知能技術によるゲノム情報と化学情報のコンピュータ解析」

京都大学化学研究所 教授 阿久津達也氏

第314回・8月6日・京都大学楽友会館(14名)

「福島原発事故後の除染活動と復興支援に関する研究」 滋賀大学教育学部 准教授 徳田 陽明氏

第315回・9月3日・京都大学楽友会館(11名)

「伝統技術に息づく日本人の感性、と科学」

京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター シニア・フェロー 黒田 孝二氏

第316回・10月1日・京都大学楽友会館(10名)

「傍から見た二次電池蓄電システムの進化」

一般財団法人電力中央研究所材料科学研究所 寺田 信之氏

第317回・11月12日・京都大学楽友会館(49名)

一般財団法人海洋化学研究所70周年秋季講演会

第318回・12月3日・京都大学楽友会館(10名)

「下北沖海底下2500mまでの国際深海掘削プロジェクトー地下生命圏の実態解明に向けてー」

高知大学海洋コア総合研究センター 教授 村山 雅史氏

第319回・1月7日・京都大学楽友会館(11名)

新春賀詞交歓会

第320回・2月4日・京都大学楽友会館(15名)

「下水道とバイオ技術」NPO 法人下水道と水環境を考える会・水澄 橋本 隆氏  
第321回・3月4日・京都大学楽友会館（12名）

「特許を取れなかった技術、取らなかった技術」

立命館大学OIC 総合研究機構上席研究員  
岡山県立大学名誉教授・岡山県立大学名誉教授 寺本 巖氏

### 3. キンカつくばサロン

筑波在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学（科学）に関する学術講演と討論を行い会員交流・技術情報の交換を図った。

第18回・3月13日・筑波大学（45名）

「ゲノム医学の最新技術—質量分析装置の最先端創薬・診断への応用」

(株)島津製作所 フェロー/同 基盤技術研究所ライフサイエンス研究所 所長  
筑波大学 グローバル教育院 教授 佐藤 孝明氏

### 4. 新年交歓会

化学並びに化学工業界の発展に尽くされた名誉会員をはじめ、大先輩をお招きして、産官学の会員約200名が一堂に会して、化学技術に関する情報交換と交流会を行った。

第71回新年交歓会・1月20日・ヒルトン大阪（182名）

### 5. 化学技術アドバイザー会（キンカCA）

アドバイザー登録者（近畿化学協会正会員の有志103名）による自主運営とし、近畿化学協会での位置づけ（組織図）は、研究部門委員会（専門部会・目的研究会）の規定を準用する体制のもとで活動を行う。

会員企業及び一般企業から依頼により技術相談を行う活動と工学倫理研究会、化学教育研究会、安全研究会、MOT研究会では登録会員間の情報交換・懇談会及びこれまでの経験を生かした社会への貢献、啓発活動を行う。

技術相談日：随時対応

アドバイザー情報交換・懇談会（年4回）

工学倫理研究会：原則毎月1回（第4月曜日）

化学教育研究会：原則毎月1回（第2水曜日）

安全研究会：原則毎月1回（第1月曜日）

MOT研究会：原則毎月1回（第3水曜日）

【技術相談】 7件

【年次大会】 6月6日（30名）

【情報交換・懇談会】 8月22日（17名）、11月28日（21名）、2月27日（19名）

【工学倫理研究会】

工学倫理の教授法について意見交換を重ねるとともに、大学・学校などへ講師の推薦を行った。  
第137回（4/25・16名）、第138回（5/23・17名）、第139回（6/22・17名）、第140回（7/25・18名）、第141回（9/26・19名）、第142回（10/24・27名）、第143回（11/28・23名）、第144回（12/19・25名）、第145回（1/23・20名）、第146回（2/27・21名）、第147回（3/27・18名）

【化学教育研究会】

学生（小学生から大学院まで）を対象として地球環境・産業に関わる化学教育支援および専門化学教育支援を行った。

第143回（4/13・15名）、第144回（5/11・15名）、第145回（6/8・13名）、第146回（7/13・13名）、第147回（9/14・9名）、第148回（10/12・13名）、第149回（11/9・9名）、第150回（12/14・9名）、第151回（1/11・12名）、第152回（2/8・8名）、第153回（3/8・9名）

【安全研究会】

公的機関及び企業・大学向けの教育資料作成と安全指導の実施を行った。



第130回 (4/4・8名)、第131回 (5/9・11名)、第132回 (6/6・13名)、第133回 (7/4・11名)、第134回 (9/5・13名)、第135回 (10/3・9名)、第136回 (11/7・12名)、第137回 (12/5・13名)、第138回 (1/10・12名)、第139回 (2/6・10名)、第140回 (3/6・11名)

#### 【MOT研究会】

化学産業において実際に役立つ研究開発テーマの発掘と育成をめざした実践的技術経営の検証を行った。

第21回 (4/20・11名)、第22回 (5/18・11名)、第23回 (6/15・8名)、第24回 (7/20・6名)、第25回 (9/21・11名)、第26回 (10/19・7名)、第27回 (11/16・10名)、第28回 (12/21・6名)、第29回 (1/18・8名)、第30回 (2/15・8名)、第31回 (3/15・10名)

#### 【専門部会事業】 (共益事業2)

化学の専門分野に応じた9の各専門部会を設置し、各専門部会が部会の目的に沿って部会員の活動の場となり、部会員が協力して科学技術の振興を図る。部会員相互の学術的及び技術的知識の増進を図ることを目的として、例会(学術講演会)、基礎講習会、学術講習会、学術セミナー、討論会、シンポジウム、フォーラム、公開講演会、懇話会等を行う。

##### 第1部会(有機金属部会)

有機金属化学における基礎研究並びにスペシャリティケミカルズの開発に関する研究会として例会(学術講演会)・学術セミナー・討論会等の実施および知識普及事業として部会機関誌 Organometallic News を刊行した。

第1回例会・4月15日・大阪科学技術センター(30名)

①「不斉金属錯体の化学に専心して思うこと」

元名古屋大学大学院工学研究科 教授 西山 久雄氏

②「化学. 分子世界と実世界の架け橋」 東京大学総括プロジェクト機構 特任教授 中村 栄一氏

第2回例会・6月6日・青山学院大学青山キャンパス(93名)

①「ロジウム触媒を用いた[2+2+2]付加環化反応による高歪み芳香族化合物の合成」

東京工業大学物質理工学院応用化学系 教授 田中 健氏

②「不活性結合切断を利用した触媒的官能基導入」

慶應義塾大学理工学部化学科 教授 垣内 史敏氏

③「キラル銀触媒を用いる不斉反応の最近の進歩」

千葉大学大学院理学研究科 教授 柳澤 章氏

第43回有機金属化学セミナー・6月3日・キャンパスプラザ京都(118名)

①「遷移金属錯体触媒反応を理解するための基礎知識」

大阪府立大学大学院理学系研究科 教授 松坂 裕之氏

②「クロスカップリング反応」

京都大学大学院理学研究科 教授 依光 英樹氏

③「C-H官能基化」

大阪大学大学院工学研究科 特任講師 鳶巢 守氏

④「オレフィンメタセシス反応」

京都大学大学院工学研究科 教授 大江 浩一氏

⑤「遷移金属触媒反応を活用する機能性有機材料の合成」

京都工芸繊維大学分子化学系 教授 清水 正毅氏

⑥トピックス「直接的アリール化重合： $\pi$ 共役系高分子の新合成法」

京都大学化学研究所 教授 小澤 文幸氏

第63回有機金属化学討論会・9月14日～16日・早稲田大学西早稲田キャンパス(572名)

口頭発表 45件、ショートトーク、ポスター発表 191件

第3回例会・10月11日・名古屋大学(67名)

①「イオン対の活用に基づく新奇キラル配位子の創製と応用」

名古屋大学トランスフォーメティブ生命分子研究所 特任准教授 大松 亨介氏

②「前周期遷移金属錯体の酸化・還元状態の精密制御を経る分子変換反応」

大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授 劔 隼人氏

③「イリジウム触媒による水素移動ならびに脱水素化を基軸とする分子変換」

京都大学大学院人間・環境学研究所 教授 藤田 健一氏

第4回例会・1月27日・大阪大学産業科学研究所（57名）

①「含ホウ素多環芳香族化合物の短段階合成と機能開拓」

関西学院大学理工学部化学科 准教授 畠山 琢次氏

②「遷移金属窒素錯体を用いた触媒的窒素固定反応の開発」

東京大学大学院工学系研究科 教授 西林 仁昭氏

③「均一系遷移金属触媒による遷移金属錯体の立体選択的分子変換」

徳島大学大学院理工学研究部 教授 小笠原正道氏

部会機関誌 Organometallic News 2016 No.2, 3, 2017 No.1 (Web版), 2016冊子体刊行

## 第2部会（合成部会）

有機合成化学の基礎研究並びに医薬、農薬、エネルギー開発生体模倣材料の合成化学的開発に関する研究会として合成フォーラム等を実施した。部会内に設置されたフロー・マイクロ合成研究会では、自動合成やマイクロリアクターを使った合成に関する研究会として研究会（学術講演会）、公開講演会&展示会等を実施した。

第1回合成フォーラム・6月3日・サントリーホールディングス（株）ワールドリサーチセンター（28名）

①「膜タンパク質膜挿入の鍵を握る糖脂質その構造と機能」

(公財)サントリー生命科学財団 生物有機科学研究所 島本 啓子氏

②「サントリー健康食品の研究開発史」

サントリーウエルネス(株) 取締役 柴田 浩志氏

③見学会：サントリー社展示、財団の歴史、解析センターほか

第2回合成フォーラム・11月22日・神戸大学先端融合研究環統合拠点（23名）

①「バイオ医薬品生産プロセスの現状と将来」

大阪大学大学院工学研究科生命先端工学専攻 教授

徳島大学大学院生物資源産業学部 客員教授 大政 健史氏

②「抗体医薬品における製造開発の現状」

武田薬品工業(株)Pharmaceutical Sciences Biologics and New Modalities Development

リサーチマネージャー 上永吉剛志氏

③見学会：次世代バイオ医薬品製造技術研究組合GMP関連施設

第14回国際有機化学京都会議（IKCOC-14）の準備（平成30年11月・京都にて開催）

## [フロー・マイクロ合成研究会]

第70回研究会・5月13日・大阪科学技術センター（54名）

①「フローマイクロリアクタシステムによる製造プロセスの革新」

(株)日立製作所 研究開発グループ機械イノベーションセンター 主任研究員 浅野由花子氏

②「ワイエムシィにおけるマイクロリアクタへの取り組み」

(株)ワイエムシィ 東京営業部 次長 前澤 真氏

③「強混合マイクロミキサによる核生成制御ー単分散ナノ粒子およびコアシェル粒子のフロー合成事例ー」

京都大学大学院工学研究科 教授 宮原 稔氏

第30回公開講演会&展示会（第71回研究会）・7月1日・大阪科学技術センター（120名）

①「Photochemical Synthesis of Heterocycles via Continuous Flow Methods」

University of Montreal, Canada Prof. Shawn Collins氏

②「Flow chemistry for lab, pilot and production scale」

Flowid社 Wouter Stam氏

③出展企業プレゼンテーション

④「Reaction monitoring with Spinsolve flow cell by Magritek」

Magritek社 Dr. Bertram Manz氏

⑤ 「Continuous Flow Process : A New Paradigm in Conjugated Polymers Syntheses」  
IIT, India Prof. Anil Kumar氏

⑥ 「フロー化学により光反応と触媒反応の可能性を広げる」  
大阪府立大学21世紀科学研究機構 特認教授 柳 日馨氏  
=展示= 自動合成・マイクロ合成装置などのデモ

(株)神戸製鋼所、シリスジャパン(株)、(株)スクラム、(株)DFC、(株)中村超硬、(株)日本サイエンスコア、富士テクノ工業(株)、メトラー・トレド(株)、(株)ワイエムシィ、Magritek Ltd.

第72回研究会・11月25～26日・パレブラン高志会館(54名)

① 「フロープロセスケミストリー～シャープレス不斉酸化と精密アニオン重合～」  
日産化学工業(株)物質科学研究所合成研究部 戦略技術Grリーダー 小沢 征巳氏

② 「ポリマーモノリスとフローリアクターへの適用」  
(株)エマオス京都 代表取締役 石塚 紀生氏

③ 「液液2相の高速混合による微細液滴生成操作」  
花王(株)加工・プロセス開発研究所 主席研究員 松山 一雄氏

④ 「IMRET (2016.9/11-14、北京)参加報告」  
味の素(株)イノベーション研究所プロセスエンジニアリングGr 研究員 中原 祐一氏

⑤自由討論 「フローマイクロ合成に関する意見交換」

第73回研究会・1月27日・大阪科学技術センター(50名)

① 「デバイスメーカーから見たフローケミストリーの現状」  
(株)DFC 代表取締役 松本 一希氏

② 「フローリアクターを用いる新規塗布型有機半導体の光化学合成とその物性評価」  
大阪府立大学大学院工学研究科 教授 池田 浩氏

③ 「連続フローによる結晶粒子群製造」 東京農工大学大学院工学研究院 教授 滝山 博志氏

### 第3部会(触媒・表面部会)

触媒化学の基礎研究並びにファインケミカルズ開発の触媒設計等に関する研究会としてキャタリストクラブ例会(学術講演会)、学術セミナー、学術講習会等を実施した。

第1回キャタリストクラブ例会・6月23日・大阪大学中之島センター(33名)

① 「鉄系複合酸化物の結晶構造を利用した新規触媒材料の開発」  
京都大学学際融合教育研究推進センター 准教授 細川 三郎氏

② 「選択酸化反応によるフェノール段階合成触媒の開発」  
神戸大学大学院工学研究科 准教授 市橋 祐一氏

入門触媒科学セミナー・10月17日～18日・大阪科学技術センター(36名)

① 「触媒科学の基本概念ーこれだけは知っておこう」  
大阪府立大学大学院工学研究科 教授 松岡 雅也氏

② 「固体表面の酸・塩基点とその触媒機能」  
徳島大学大学院理工学研究部 准教授 山本 孝氏

③ 「金属酸化物触媒ー多様な触媒機能の宝庫ー」  
京都大学大学院工学研究科 准教授 寺村謙太郎氏

④ 「錯体の触媒作用ー遷移金属錯体の基礎と有機合成反応における利用」  
関西大学化学生命工学部 教授 大洞 康嗣氏

⑤ 「金属表面と触媒作用ーパラジウムなどの貴金属ナノ粒子触媒の設計」  
大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授 水垣 共雄氏

⑥ 「触媒調製化学ー基礎から最近のナノ構造触媒までー」  
大阪大学大学院工学研究科 准教授 森 浩亮氏

第2回キャタリストクラブ例会【第9回触媒表面化学研究発表会】・10月28日・関西大学(49名)

- ①「シングルサイト@ナノ空間の応用展開」 大阪大学大学院工学研究科 教授 山下 弘巳氏  
 ②ショートトーク、ポスターセッション

ナノ材料の表面分析講習・1月21日～22日・大阪府立大学（51名）

- ①「表面分析概論」 関西大学環境都市工学部 教授 三宅 孝典氏  
 ②「昇温スペクトル(TPD・TPR)」 京都大学大学院工学研究科 准教授 寺村謙太郎氏  
 ③「電子スピン共鳴 (ESR)」 大阪府立大学大学院工学研究科 教授 松岡 雅也氏  
 ④ 装置見学  
 ⑤「X線光電子分光法 (XPS)」 大阪府立大学大学院工学研究科 准教授 竹内 雅人氏  
 ⑥「XAFS」 徳島大学大学院理工学研究部 准教授 山本 孝氏  
 ⑦「核磁気共鳴 (NMR)」 香川大学医学研究院 教授 和田 健司氏  
 ⑧「赤外・ラマンスペクトル」 関西大学環境都市工学部 教授 池永 直樹氏  
 ⑨「紫外可視・光ルミネセンス」 大阪工業大学工学部 准教授 東本 慎也氏  
 ⑩「TEM・SEM・STM・AFM」 近畿大学理工学部 教授 古南 博氏  
 ⑪「X線回折(XRD)・蛍光X線」 京都大学学際融合教育研究推進センター 准教授 細川 三郎氏  
 ⑫「MS, SIMS」 神戸大学大学院工学研究科 准教授 市橋 祐一氏  
 ⑬「総論・ケーススタディー」 京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 吉田 寿雄氏

第3回キャタリストクラブ例会・1月12日・大阪大学中之島センター（20名）

- ①「Fe系金属酸化物を用いた白金族フリー自動車三元触媒開発の試み」  
 名古屋大学大学院工学研究科 教授 薩摩 篤氏  
 ②「エネルギーキャリアプログラムの背景と成果」  
 放送大学客員教授・内閣府SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)  
 「エネルギーキャリア」サブ・プログラムディレクター 秋鹿 研一氏

#### 第4部会（ヘテロ原子部会）

脱硫、脱硝に伴う副生物の有効利用、ヘテロ原子化学の基礎研究並びに応用開発に関する研究会として懇話会（学術講演・見学会）等を実施した。

第1回懇話会・5月16日・大阪府立大学植物工場研究センター（22名）

- ①「有機合成化学との連携による抗体タンパク質の機能化」  
 大阪府立大学大学院理学系研究科 准教授 円谷 健氏  
 ②「含ヘテロ原子配向基を利用したC-H官能基化反応」  
 大阪市立大学大学院理学研究科 教授 佐藤 哲也氏  
 ③大阪府立大学植物工場研究センター見学会

第2回懇話会・11月29日・東レ(株)瀬田工場（15名）

- ①「実践的ヒ素-炭素結合反応による有機ヒ素化合物の創出と機能開拓」  
 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 教授 中 建介氏  
 ②「有機薄膜太陽電池の材料開発と実用化」  
 東レ(株)先端材料研究所 主任研究員 渡辺 伸博氏  
 ③東レ(株)環境・エネルギー開発センター[太陽電池設備]見学会

第3回懇話会・2月6日・大阪科学技術センター（16名）

- ①「ヘテロ元素の特性が切り拓くユニークな $\pi$ 共役分子の科学」  
 大阪大学大学院工学研究科 准教授 武田 洋平氏  
 ②「鉄の特長を活かした有機合成反応の開発—典型元素—水素結合の炭素-炭素不飽和結合への選択的な付加—」  
 大阪市立大学大学院理学研究科 講師 板崎 真澄氏  
 ③「銅触媒によるヘテロ原子導入を伴うアレンの二官能基化反応」  
 京都大学大学院工学研究科 助教 藤原 哲晶氏

#### 第5部会（バイオ部会）

バイオテクノロジーの基礎研究並びに工業生産技術開発に関する研究会として例会（学術講演会）等を実施した。

第1回例会・7月22日・大阪市立大学人工光合成研究センター（27名）

①「二酸化炭素の資源化を目指した生体触媒-色素複合型人工光合成」

大阪市立大学人工光合成研究センター 所長 天尾 豊氏

②「酵母の細胞壁はどこまでわかったのか？ その応用展開は？」

大阪市立大学工学研究科化学生物系専攻 教授 東 雅之氏

第2回例会・2月22日・神戸天然物化学(株)（26名）

①「リグニンからバイオプロセスにより誘導されるプラットフォームケミカル 2 ピロン 4,6-ジカルボン酸 (PDC) の生産と利用技術開発」

森林総合研究所 森林資源化学研究領域微生物工学研究室 室長 中村 雅哉氏

②「神戸天然物化学のバイオ関連ビジネスの紹介」

神戸天然物化学(株) 執行役員（営業） 真岡 宅哉氏

③「微生物バイオによるテルペン系化合物の生産法開発」

神戸天然物化学(株)開発本部バイオ開発室 研究員 金本 浩介氏

## 第6部会（機能性色素部会）

機能性色素材料の基礎研究並びにデザイン、合成、物性等に関する研究会として例会（学術講演会）、公開講演会を実施した。

第91回例会・4月26日・大阪科学技術センター（42名）

テーマ「有機EL技術の最新動向」

①「高性能有機EL照明を目指した技術開発」

コニカミノルタ(株)開発統括本部要素技術開発センター センター長 北 弘志氏

②「有機ELディスプレイの開発動向と課題 -材料への期待-」

ジャパンディスプレイ(株)次世代研究センターOLED開発プロジェクト室

シニアテクニカルスペシャリスト 上村 強氏

③「有機EL発光材料および電荷輸送解析の最近の動向」 京都大学化学研究所 教授 梶 弘典氏

見学・研修セミナー・7月13日・ダイキン工業(株)テクノロジー・イノベーションセンター（28名） [エレクトロニクス部会と共催]

①「表面機能化とトライボロジー」

(国研)産業技術総合研究所 製造技術研究部門表面機能デザイン研究グループ

グループ長 三宅 晃司氏

②「過渡吸収過程を含む非線形吸収を応用した次世代アーカイバル多層光ディスク材料について」

ダイキン工業(株)テクノロジー・イノベーションセンター 技術管理グループ

大阪大学ダイキン協働研究所 招へい准教授 佐藤 数行氏

③見学会：テクノロジー・イノベーションセンター概要説明、啓発館・技術展示場など

第92回例会・10月26日・大阪科学技術センター（19名）

テーマ「ドラッグデリバリーシステムの新展開」

①「PLAGナノ粒子のDDS開発と化粧品への応用」

ホソカワミクロン(株)マテリアル事業部 製薬・美容科学研究センター

研究リーダー 塚田 雄亮氏

②「高分子ミセル型DDSの開発状況と今後の展開」

ナノキャリア(株)研究部 部長 緒方 嘉貴氏

③「薬物投与技術の進歩と将来の医療」

京都大学大学院薬学研究科医療薬科学専攻 教授 橋田 充氏

機能性色素・エレクトロニクス部会合同公開講演会・11月14日・大阪科学技術センター [エレクトロニクス部会と共催]（37名）

テーマ「色を操る技術最前線ー発光色・演色性・蓄光・塗料ー」

①「蛍光・蓄光性を示す機能性ガラス」

(国研)産業技術総合研究所 無機機能材料研究部門高機能ガラスグループ

グループ長 赤井 智子氏

②「LED照明の演色性と製品の色彩シミュレーション」

(地独)大阪市立工業研究所 生物・生活材料研究部機能性色材研究室 室長 吉村由利香氏

③「青色LEDの開発の歴史と展望」

豊田合成(株) 特任顧問 太田 光一氏

④「黒色表面処理技術 ～めっき、有機・無機塗料～」

奥野製薬工業(株)総合技術研究所表面技術研究部 次長 村橋浩一郎氏

⑤「 dendrimer を分子リアクターとする精密サブナノ粒子の合成」

東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所 教授 山元 公寿氏

第3回農工連携による波長変換資材の開発に関する公開シンポジウム

～ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業の紹介～・1月16日・大阪府立大学 I-site なんば [大阪府立大学と共催]

①「国外施設栽培コンサルティングからみた課題と産業戦略」

こもろ布引いちご園(株) 専務取締役 倉本 浩行氏

②「パッシブソーラー省エネ蓄熱温室装置「エネバンク」の紹介」

(株)ヤノ技研 代表取締役社長 矢野 直達氏

③「ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業「農工連携による波長変換資材の製品規格の構築と工業化事業の推進」の進捗状況報告」

大阪府立大学21世紀研究機構 特認教授 中澄 博行氏

第93回例会・1月27日・大阪科学技術センター(21名)

テーマ「有機材料と二次電池」

①「硫黄系電池材料の開発動向」

(株)ポリチオン 代表取締役 上町 裕史氏

②「二次電池用活物質としてのキノン系有機材料の可能性」

(国研)産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域電池技術研究部門 主任研究員 八尾 勝氏

③「分子性ポーラス物質を利用した2次電池の開発」

名古屋大学理学研究科物質理学専攻 教授 阿波賀邦夫氏

## 第7部会 (エレクトロニクス部会)

電子材料の新素材研究と学際領域の技術開発に関する研究会として例会(学術講演会)、研修セミナー、公開講演会等および、部会機関誌 Electronics Communications を刊行した。

公開講演会(第1回研究会)・5月31日・大阪科学技術センター(26名)

テーマ: 未来医療応用を支える先端技術の開発と市場

①「産学官・医工連携による医療機器開発戦略」

国立循環器病研究センター 研究開発基盤センター センター長

大阪大学医学部 教授 妙中 義之氏

②「臨床ニーズから商品化した感染予防アイガード「Parashield」ー医療現場に必要なデザイン開発とはー」

国立循環器病研究センター臨床工学部 西垣 孝行氏

③「ハイドロキシアパタイト医用材料の開発」

東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 教授 山下 仁大氏

④「マイクロニードル技術の医薬品、化粧品分野への応用」

コスメディ製薬(株) 代表取締役 神山 文男氏

⑤「日本発の高機能手術器具を世界へ」 (株)シャルマン 取締役専務執行役員 岩堀 一夫氏

見学・研修セミナー・7月13日・ダイキン工業(株)@テクノロジー・イノベーションセンター [機能性色素部会と共催] [前出]

第2回研究会・9月26日・大阪科学技術センター(22名)

テーマ：衣と食の最先端技術

- ①「衣」関連「蜘蛛の糸のサイエンス」 奈良県立医科大学名誉教授 大崎 茂芳氏  
②「食」関連1「半導体技術により作製したマイクロチップ型の農業用センサ」  
豊橋技術科学大学電気・電子情報工学系 教授

同 エレクトロニクス先端融合研究所 所長 澤田 和明氏

- ③「食」関連2「地域の特産物を活用した機能性食品の開発～みかんポリフェノール/柿ポリフェノールの利用～」 近畿大学農学部 教授 米谷 俊氏

機能性色素・エレクトロニクス部会合同公開講演会・11月14日・大阪科学技術センター [機能性色素部会と共催] [前出]

第3回研究会・1月16日・大阪科学技術センター（20名）

テーマ：広がりを見せる多様なナノサイズ材料とその応用の最前線

- ①「聴覚の工学的考察とその応用」 鹿児島大学大学院理工学研究科機械工学専攻 准教授 村越 道生氏  
②「ウォータージェット法で製造したセルロースナノファイバーの特長と応用事例」  
(株)スギノマシン 経営企画本部新規開発部開発プロジェクト一課 チーフ 小倉 孝太氏  
③「炭素系材料コーティングによる表面の高機能化」 東京工業大学大学院工学院機械系 准教授 赤坂 大樹氏  
④「量子ドットの基礎と応用」 富士色素(株) 代表取締役 森 良平氏

部会機関誌 Electronics Communications No.32刊行

#### 第8部会（コンピュータ化学部会）

物質のデザイン、生産工程のコントロール、人工知能開発研究に関する研究会として例会（学術講演会）、公開講演会、公開セミナー等を実施した。

公開講演会（第96回例会）・6月13日・大阪産業創造館（15名）

テーマ：大規模系の電子状態計算法

- ①「OpenMXの開発と応用」 東京大学物性研究所計算科学研究センター 特任教授 尾崎 泰助氏  
②「分割統治（DC）法の理論と応用」 早稲田大学先進理工学部化学・生命化学科 教授 中井 浩巳氏

公開講演会（第97回例会）・10月18日・大阪科学技術センター（17名）

テーマ「生命科学における統計的手法・機械学習・人工知能の活用」

- ①「ゲノム・オミクス分野の統計解析」 京都大学大学院医学研究科 附属ゲノム医学センター 教授 山田 亮氏  
②「機械学習の進展と生命科学研究への応用」 東京工業大学大学院情報理工学院 准教授 石田 貴士氏  
③「脳科学と人工知能の共進化」 沖縄科学技術大学院大学神経計算ユニット 教授 銅谷 賢治氏

公開講演会（第98回例会）・2月7日・大阪科学技術センター（17名）

テーマ：物質機能発現のための計算化学

- ①「量子計算化学的手法に基づくX線吸収分光分析の新展開」 京都大学化学研究所附属元素科学国際研究センター 准教授 高谷 光氏  
②「量子化学計算に基づく分子磁性の理論研究」 大阪大学基礎工学研究科化学工学領域 准教授 北河 康隆氏  
③「凝縮相量子ダイナミクス理論とその光合成初期過程への展開」 自然科学研究機構分子科学研究所 理論・計算分子科学研究領域 教授 石崎 章仁氏

#### 第9部会（重合工学部会）

重合体製造プロセスに関する研究会として例会（学術講演会）、重合プロセスの基礎講習会、重合工学レクチャーシリーズ、塩ビフォーラム等を実施した。

第1回例会・6月10日・大阪科学技術センター（25名）

①「セルロースナノファイバーの界面制御による新価値創造」

花王(株)マテリアルサイエンス研究所第5研究室 グループリーダー 熊本 吉晃氏

②「樹脂改質剤『メタブレン』の紹介」

三菱レイヨン(株)大竹研究所樹脂開発センター 副主任研究員 西井 博幸氏

重合プロセスの基礎講習会・10月27日～28日・日本薬学会長井記念館（35名）

①「高分子工業化学の基礎」

元大阪市立大学工学研究科教授 圓藤紀代司氏

②「ポリマー製造プロセスの構成と単位操作」

日本ゼオン株式会社 顧問 浅野 健治氏

③「重合機構と反応速度」

大阪府立大学大学院工学研究科 教授 安田 昌弘氏

④「微粒子生成重合反応論—乳化重合・懸濁重合など—」

福井大学大学院工学研究科 准教授 鈴木 清氏

⑤「重合プロセスの操作設計」

神戸大学大学院工学研究科 教授 大村 直人氏

⑥「重合反応装置の基本設計と事例紹介」

住友重機械プロセス機器(株)営業部(企画GL、海外PJ) 主席技師 彌富 隆一氏

⑦「ポリマー分離工程における押出機の適用」

(株)日本製鋼所 広島製作所樹脂製造機械技術グループ 高本 誠二氏

⑧「PVCものづくりの現状と将来—プロセスから製品化—」

元(株)カネカ 一色 実氏

重合工学レクチャーシリーズNo. 4 ・11月29日・大阪科学技術センター（25名）

①「ナノ粒子の可能性と最新動向～重合反応によるナノ粒子合成」

大阪府立大学大学院工学研究科 教授 安田 昌弘氏

②「マイクロ空間を利用した反応制御とナノ粒子の製造」

産業技術総合研究所材料・化学領域化学プロセス研究部門 副研究部門長 古屋 武氏

③「化粧品開発における高分子を利用した微細構造制御事例」

花王(株)加工・プロセス開発研究所主任研究員 グループリーダー 福田 公一氏

④「印刷用トナー、インクの製品開発に於けるナノ領域の設計 ～プロセッシング技術～」

コニカミノルタ(株)材料要素技術開発センター化製品開発部 西森 芳樹氏

第8回塩ビフォーラム・12月2日・住友不動産六甲ビル（54名）

①「世界におけるPVC関連研究の動向」

元大阪市立大学教授 圓藤紀代司氏

②「PVC DESIGN AWARDから製品化へ」

プロダクトデザイナー 徳田 周太氏

③「プラスチックリサイクルの現状 -マテリアルリサイクルの状況-

日本プラスチック有効利用組合 事務局長 嶋倉 範夫氏

## 【学協会との連携及び合同事務局の運営事業】（共益事業4）

### 1. 学協会との連携及び合同事務局運営事業

一般社団法人近畿化学協会・公益社団法人日本化学会近畿支部・公益社団法人化学工学会関西支部・公益社団法人日本分析化学会近畿支部・公益社団法人有機合成化学協会関西支部の5法人で「合同事務局運営委員会」を組織して合同事務局の運営を行った。

### 2. 関連学協会行事協賛

化学分野の学術団体が主催する学術セミナー・学術講演会などの行事に協賛し、内容を会誌などで会員に周知した。会員が行事に参加する場合は各主催者で定めた割引費用で参加できる。



## 平成28年度事業報告の付属明細書

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。